

船舶部品の緊急修繕や特注品生産強化のためのマシニングセンタの導入

船舶加工の緊急的な手直し、修繕の要請や新製品開発向けの特注品など、緊急かつ高品質な製品を生産するために、新規のマシニングセンタを導入した。これにより、新規設備と既存設備の併用で顧客ニーズに対応し、更なる顧客開拓を図る。

株式会社山本製作所

- | | |
|--|---|
| ●代表者／代表取締役 山本 伸一 | ●業 種／金属製品製造業 |
| ●設 立／昭和32年7月 | ●T E L／0968-68-1618 |
| ●所 在 地／荒尾市高浜字前1825-51
(本社:福岡県大牟田市八江町52) | ●F A X／0968-68-6842 |
| ●資 本 金／4,950万円 | ●U R L／ http://www.syc-group.jp/seisakusho/ |
| ●従業員数／54人 | |

事業課題と申請の経緯 既設設備の老朽化で、顧客ニーズへの対応が難しく

当社は、船舶用エンジン部分、船舶機装品などの製作、据付を行っている。船舶エンジン等の機械加工部品は海外部品の調達が進んでいるが、技術、品質不十分により、緊急の手直しや修繕の要請が多い。また新製品開発用の難易度の高い特注品も緊急かつ高品質なものが要求される。しかしながら、当社の既設設備は老朽化が進んで

おり、高品質、高精度のものを効率的に生産する事が困難となり、顧客ニーズへの対応が難しくなっていた。これらの緊急修繕、特注品等の納期、生産強化のニーズに応えるために、最新のマシニングセンタを導入したいと考え、本事業に申請した。



立形マシニングセンタ



導入したマシンで制作した使用済み核燃料用輸送容器のアルミ部品

課題解決のプロセスと成果 新規設備を導入し、既存設備との併用で効率アップ

当社は主要客先である日立造船(株)有明工場に近接し、船舶用エンジン、産業プラント機器などの機械加工部品や製缶加工部品を数多く受注している。また、近年の排気ガスの規制強化に対応する新型船舶用エンジン部品やシェールガスの液化プラント、さらに原子力発電における使用済み核燃料用輸送容器等の先端技術の開発品加工

の受け皿になると共に、同社が海外調達した部品の不具合による緊急修繕品や緊急設計変更部品への対応、さらに海外調達が難しい部品の緊急加工を得意としている。同社の緊急品、特注品の中でも、特に緊急度、難易度の高いものは、新規導入設備を優先的に使用し、他製品は従来機で対応するなど、使い分けることで効率化を図っている。

今後の展望 他社の緊急品なども受注し、顧客拡大を望む

中国やインドなどの海外諸国から調達した部品は、安価であるというメリットがあるものの、技術不足による不具合や故障、損傷が多いのも現実である。これらの部品を緊急に加工する場合は、価格が高くても納期の面から、近隣地域の企業で行われなければ生産がストップしてしまうため、短期間での加工が要求さ

れる。初年度で特に緊急度、難易度の高い加工品、短納期品を中心に進め、二年目以降は他社向け緊急品、短納期品へ水平展開し顧客拡大を進めたい。また、これまで培った技術力をベースに、他メーカーの先端技術を積極的に取り入れながら、さらにクオリティの高い製品づくりを目指す。

求める事業パートナーと支援策 ビジネスマッチングサイトを活用し、パートナーシップを構築

取引先の拡大について、独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営するビジネスマッチングサイト「ジェグテック(J-Good Tech)」に登録し、

当社の技術、製品、サービス情報を発信することで、国内大手企業や海外企業とパートナーシップを構築したい。



荒尾鉄工団地内にある山本製作所

難易度の高い特注品も
多数受注できるよう
になりました

製造部長 野田 憲一氏